

令和3年9月6日発行

ふる里からの 「ふるさと」 9月号

今年の指針 “緒”

HP検索:

あかろく やわらかく やさしく
社会福祉法人 慶明会
デイサービスセンター ふる里

長崎県 大村市 亀橋町 1416番地
TEL (0957) 27-4500
FAX (0957) 27-4501

デイサービスセンターふる里



“笑顔は幸せを呼ぶ”

東京パラリンピックは、日本人選手の活躍で大変盛り上がっています。ハンディーを克服するのも容易ではないのに、オリンピックに出場というトップアスリートになって戦っておられる姿を拝見した時、肉体的にも精神的にも辛かった日々を乗り越えて最高の笑顔を送ってくださる姿に強く感動しております。長崎県からも卓球の『浅野(あさの たかし) 俊』選手、車いすバスケットの『川原(かわはら りん) 凜』選手、『鳥海(ちょうかい れんし) 連志』選手が出場しました。今回私が注目し、大声援を送り続けたのが車いすバスケットのチームです。惜しくもアメリカに負けましたが、バスケ王国のアメリカ相手にもしかしたら金メダルかもと思わせてくれました。悔し涙よりもやり遂げた爽やかな**“笑顔”**が私の心に強く残りました。

瀬立(せりゅう もにか)モニカ選手(東京・江東区協会)は、カヌー競技、女子カヤック 200メートル(運動機能障害KL1)に出場。目標の「地元でメダル」には届かなかったが、16年リオ大会の8位から1つ順位を上げ、57秒998で7位でした。瀬立選手は、実力もさることながら、明るく笑って多くの人を笑顔

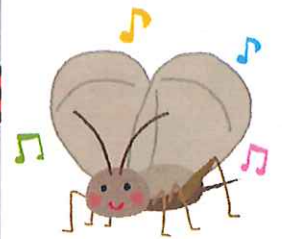


に変える。そういう**“笑顔”**が魅力の22歳です。そこには実は深い思いがありました。「障害がある人たちが、みんなと普通に対等に接することができることを伝えたい。自分自身が人とコミュニケーションを取ることで、車いすに乗っているだけで人間的には普通じゃないかって感じ取ってくれる人たちが少しでも増えたらいいな」と。2019年12月から合宿を行っている拠点、沖縄県大宜味村の人たちも瀬立さんの**“笑顔”**にすっかり魅了されました。おばーたちからの、サーターアンダギーやのど飴など日々いろいろな差し入れ、障害者とほとんど接したことがないというおじーも、今や熱心に瀬立さんを支える1人です。宿泊する施設の前に、木製のスロープを手作りで完成、車いすのタイヤがはまらないようにと施設の前の道路脇の溝にはゴムシートもひいた。夜になるとガジュマルの木の下で始まる宴会。瀬立さんも自然とその輪に入り、みんなと会話を楽しむ。「幸せです。毎日」。高校生の時に事故で胸から下の筋肉が動かなくなった瀬立さん。その瀬立さんが**“笑顔”**でいられるのは母、キヌ子さんからの**“笑顔は副作用のない薬”**という言葉に支えられて来ました。「朝おはようから始まって、おやすみって言うまで声かけをすることで、村の人ともとても仲良くなれたという実感はありますし、ツンとしている態度で合宿をしていたら、自分たちだけ満足する合宿になってしまう。**“笑顔”**というツールは本当に欠かせない」。金メダル獲得を目指して、自分のやるべきことをただただ毎日こなす。その毎日の積み重ねが未来を作る」と、瀬立選手。幸せは、笑顔が潤滑油となって生活を充実させるのですね。

9月は『ふる里敬老感謝週間』の月です。今年も職員の手作りのプレゼントを用意しています。プレゼントに添える言葉は、**“笑顔は 幸せを 呼ぶ”** です。**“笑顔”**の毎日を送るだけで**“幸せ”**になれるのです。一緒に生活を満喫しましょう。

センター長 森 隆 敏

8月行事



8月行事は、17日、18日、19日の3日間『お祭り♪ワッショイ』と題して少しでも夏の風物詩でもあるお祭り気分を味わってもらおうと企画し開催しました。1日目と3日目に行った「スイカ de クラッシュ」というレクは、2チームに分かれ、スイカのビーチボールを投げたり、転がしたりしてボウリングのようにペットボトルのピンを倒すというものでした。ビーチボールを使ったためふわふわとした軌道でいっぱい倒れたり、反対に全然倒れなかったりと予測がつかないレクで皆さんが真剣に投げ方などを考えられていました。2日目は「金魚何匹とれるかな?」というレクで2チームに分かれ、水の入った桶におもちゃの金魚やスーパーボール等を浮かべ制限時間内にポイでたくさんすくうというお祭りにある金魚すくいを模したもので、ルールもとても分かりやすく皆さんが熱心にすくう姿が印象的でした。応援にも熱が入り大変盛り上がりました。近年、コロナで開催されていないお祭りの雰囲気味わってもらおうとピンのペットボトルにラムネのイラストを貼ったり、看板も提灯をイメージして作りました。また、帰る直前に昔懐かしの『千本つり』を行い、お菓子を持って帰って頂きました。利用者の方々の帰られる時の笑顔がとても素敵で実施してよかったなあと心から思いました。



1、3日目 スイカdeクラッシュ



2日目 金魚何匹とれるかな?



今回の行事では職員が法被や作務衣を着てより祭りの雰囲気を出しました。司会者は、3日間とも、ワッショイ、ワッショイの掛け声のもと纏を回し、太鼓を叩きながら登場しました。皆さんも拍手や一緒になってワッショイ、ワッショイと声を出してくださいその場が大変盛り上がりしました。また、レクリエーションの最後には皆で盆踊り(炭坑節)を踊りました。フロアの真ん中に円になって、グルッと一周する形で踊りました。座っている利用者の方々も手をたたいたり真似して踊ったり中には職員と一緒に立って踊られる方もいました。皆で楽しく和気あいあいとした行事になりました。

行事担当 崎戸彩加、三岳由弥

行事食紹介♪



訪問ボランティア

地域ボランティアの方々による本の読み聞かせの訪問が毎月あり、今月は8月20日(金)でした。利用者の方々もどんなお話が聞けるか楽しみにされています。読み聞かせを聞いて話の面白さはもちろんのこと最近の絵本は、イラストが色とりどりでとてもきれいなあと見ていて感じました。今月も有難うございました。



居宅介護サービスセンター ふる里

介護保険について、介護保険の申請代行、ケアプラン作成、介護サービスの紹介・支援など行い、介護全般の相談役であるケアマネージャー(介護支援専門員)が皆様の心配事を専門的な立場で、安心した生活を送っていただく方向で解決いたします。業務に関する手数料や、ご利用に係る料金は**無料**です。24時間サービス体制をとっていますので、介護・福祉のアドバイザーとしてご家族の身近に置いてください。



9月の行事予定

◆ふる里 9月行事 『ふる里敬老感謝週間』
9月21日(火)・22日(水)・23日(木)

◆生花教室 ~齊藤マサミ先生~ 13日(月)・30日(木)

◆書道教室 ~中村 朱実 先生~ 16日(木)・27日(月)

◆おはなしの部屋~鐘ヶ江先生他~ 18日(土)

※1 ふる里おはなしの部屋の時は、**午前中入浴**となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。

◆押し花教室 ~中村壽美子先生~ 28日(火)

◆麻雀・将棋・囲碁 … 毎週水曜日午後
(8日、15日、22日、29日予定)



先日、ふる里の畑でとれた芋づるを利用者の方々にも剥いてもらいました。皆さんが「昔よくしてたよ」と手際よく剥かれていました。1週間後の昼食の時に厨房の方に炒め物にして出して貰いました。シャキシャキしていても美味しかったです。編集後記 三岳由弥